みんなのひろば

身近な話題や、部落での催し物などがありましたら広報係（2－1115）までお知らせください。
掲載された写真をほしい方は、広報係まで。

夢ふくらむ風船 文通始まる

甲府 ⇄ 横芝

今年一月号の、みんなのひろばで紹介した風船の話題。その後、交流の輪が広がり、今では、横芝小の子供たちと文通が始まりました。

この風船は、昨年十一月に、甲府市立春日小学校の子供たちが、春日まつりの時に飛ばしたうちの一つで、これを鳥喰下の斉藤利吉さんが拾ったことから、斉藤さんと春日小の子供たちの間で文通が始まり、町の話題になっていました。

子供たちは、斉藤さんからの手紙や送られた資料をもとに、横芝町をいろいろと知ることができ、これを機会に、横芝小のみなさんとお友だちになりたい、という子供たちの願いを託した青日小、小林校長の手紙が横芝小に届き、同校藤代校長も「甲府と横芝の子供たちの交流を、できる限り深めてやりたいですね」ということから、さっそく六年生が返事を書き、文通が始まりました。

二百キロも離れた甲府市から飛んできた一つの小さな風船がもたらす交流が、大きな輪になっていくことを願いたいものです。

▲春日小学校の掲示板にはられた広報1月号と町勢要覧
春日小学校（小林求校長）は、官公庁が建ち並ぶ甲府駅前にあり、創立は明治43年、児童数525名
カット絵は、春日小6年の石丸裕美子さん

横芝俳壇

二月定例句会

土屋　栗水

犬ふぐり石垣のゆるび史を語り　成田　慄子
大寒の矢板打ち込む川普請　宇井　芝童
風花や言い継ぎ告ぐる厨口　鈴木　要
聊かも水皺を立てず寒の鯉　向後　雅子
犬ふぐり兼題となり見直せり　藤代　ゆう
うすら氷の手にさり〳〵と融けにけり　若梅あやめ
うすら氷の模様となりし木の葉かな　鈴木　南知
水桶に柄杓とられし薄氷　五木田烟花
嫁ぎ来て寒紅溶きし妻を見ず　海保　きみ
薄氷麻の葉となり捨てし水　石毛　石汀
犬ふぐり家鴨あるきの男の児　住母家千夫
白水仙素顔を庭にさらしゐて　安井ゆづる
うたかたに押されて消えて薄氷　佐久間実枝子
轍跡の薄氷ふみ〳〵登校児　佐久間久子
道路鏡の下に群れ咲く犬ふぐり　奥山　萌子
犬ふぐり町のはずれの新墓標　秋葉　万治
庭下駄の蹠かたく犬ふぐり　木下石果子
犬ふぐり午後の冷気に花隠る

横芝の碑（一一〇）

昔の風習を口づてに――栗山の〝にょいりん様〟

鳥喰方面から、栗山川に流れ落ちる第三号農業用排水路が、県道を横切る所が沢界で、この沢田から左側の堤を三百メートルほどさかのぼりますと、水路を背にして簡素な祠（ほこら）が建っています。中には、右手の掌に頭をもたせかけるような姿で、地元の女の方がたが「めようれん様」「にょいりん様」などと呼んで信仰している如意輪観音像が安置されています。お産で亡くなられた方があると、供養のためにみんなでここをお参りして、持ち寄った米や煮物等を食べながら、故人の思い出などを語り合うという風習が、今でも栗山にあるのです。

この観音様は、昔はもっと上流の沢山と呼ばれる所に二体並んで建っていたのですが、いつか一体だけになってしまいました。そして、土地改良などの事情で現在の場所に移されたのです。

沢山に建っていたころは、周囲の四坪ぐらいが空地で、排水路も現在のような立派な堀割ではなく、